

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

- 1 調査対象 全国の小学6年生
- 2 実施日 令和5年4月18日（火）
- 3 調査内容 ・国語 ・算数 ・児童質問紙
- 4 調査結果  
国語 … 全国平均・県平均と同程度の結果である。  
算数 … 全国平均・県平均に比べ、下回っている。

### 各教科における課題

- 国語：○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。  
○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。  
○ 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。

- 算数：○ 台形や正方形、正三角形の意味や性質について理解すること。  
○ 百分率で表された割合について理解すること。  
○ 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述すること。

### 児童質問紙からみられる傾向

- 毎日、朝食を食べたり、同じ時刻に起床・就寝したりするなど、基本的な生活習慣が身に付いている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）児童の割合が、全国と比べて低い。
- 学校の授業時間以外に、平日1日当たりに勉強をしている時間（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）が、全国と比べて低い。  
（一宮小は、「30分以上、1時間より少ない」と回答する児童が多い。）  
（全国は、「1時間以上、2時間より少ない」と回答する児童が多い。）
- 「英語の勉強が好き」と回答している児童が全国と比べて多い一方、「国語や算数の勉強が嫌い」と回答している児童が全国と比べて多い。

## 5 学校での対策と家庭へのお願い

### (1) 学校での対策

- 各教科において、興味や関心が高まる活動を取り入れながら学習を進めることで、主体的に学ぶ姿勢を身に付けられるように指導します。
- 国語の物語文では、読み取ったことをノートに記述するとともに、叙述にそって分析的に文章を読むように指導します。
- 配当漢字をただ書いて練習するのではなく、文例などを交えながら指導します。
- 算数のデータの活用では、表やグラフを読み取る際、目的に応じてデータの特徴を読み取り、自分の言葉で考えをまとめるように指導します。

### (2) 家庭にお願いしたいこと

- 正しい生活習慣が続けられるよう、今後ご協力をお願いします。
- 家庭学習（宿題＋自主学習）が習慣化するよう、お子様へのお声がけをお願いします。家庭学習の目安は、「学年×10分」です。
- 学校の宿題以外でも、読書や自由研究、インターネットを活用した調べ学習など、お子様の興味に応じた学習ができるようご協力をお願いします。
- 今回の質問紙の設問には無かったのですが、スマートフォンについて、使用時間や使い方などの約束が決められていないお子様が多いようです。学習面においても大きく影響が出てくると予想されますので、ご家庭で今一度話し合いをお願いします。